

2017年最初の決算相場、到来!
決算シーズンに騰がる注目株!



前回の『厳選5銘柄付き』株式投資戦略マーケットレポート「非課税のNISA口座に対応! 2017年に上がる株!」の配信翌営業日となる1月17日。外部要因軟化とともに日経平均株価は昨年末以来となる大台19,000円を割り込んだ。

年明け大発会「活況スタート」以降は、トランプ新大統領の記者会見、就任式を見据えて「発言警戒」のリスク回避の流れが影響。株価指数も少しずつ水準を切り下げている。

ただ、米国時間20日実施の新大統領就任式の迫った18日には、連日の調整からのリバウンド期待も高まり、売り一巡後は見直される展開。外部要因改善とともに見直し買いを集めた19日には、日経平均株価は大台19000円回復を果たし、ほぼ17日以降の下落分を埋めてきている。

注目されたトランプ新大統領の就任式での演説では市場観測よりも貿易の保護主義を打ち出したことで、先週23日には調整色を強め、日経平均株価は再び大台19000円を割り込む展開に。

米国株軟調、円高推移と外部要因は振るわず、24日も軟調展開。戻り売り優位の流れが続いており、日経平均株価も節目18900円を

割り込んできた。ただ、米国株上昇、円高一服と外部要因改善とともに25日は見直し買いが主導。日経平均株価は切り返し、大台19000円を奪回する展開に。

米国市場でダウ平均が2万ドルの大台突破を果たし、26日にはリスク選好の波が波及。日経平均株価は続伸。一気に節目19400円台、25日移動平均線に乗り直しており、先週後半には年明け大発会以降の調整分を埋めてきている。

ダウ平均2万ドル突破で日経平均株価は再浮上!

週明けも利益確定や戻り売りをこなしながら底堅い動きに。ただ、トランプ新大統領の入国禁止大統領令がポジション調整を招いており、米国金融政策動向も含め、為替相場を中心に市場反応に沿った対応に付いていく状況が求められるだろう。

さらに、国内では決算開示が本格化するなか、否が応でも決算銘柄を中心に個別注視の流れが強まる局面。市場参加者の心理としても決算発表前にはネガティブサプライズを警戒してポジションを縮小しておく手仕舞い売りと発表内容を見極めたいとの買い手控えに働きやすくなるのではないか。

そこで、予想コンセンサスとして活用したいのが会社四季報。四季報予想と会社側予想との乖離に着目して、四季報予想で増額修正を示唆している企業や次期予想の業績変化が著しい銘柄は狙い目となる。もちろん、全体相場の浮上や事前の先回り買いで評価が先行していれば、開示後の上値余地も乏しくなることから、買い手控えや事前の手仕舞い意識も持ち合わせたい。

あとは、素直に最高業績更新企業を狙う手もある。決算が出揃った場合の選別物色下でも存在感を発揮できるほか、順張り視点においては「上値余地」が鍵を握っており、将来性は投資妙味につながるだろう。

決算シーズンに騰がる注目株!

川田テクノロジー<3443>

フィックスターズ<3687>

アビスト<6087>

ヒューマンホールディングス<2415>

リンクバル<6046>

リンクバル<6046>

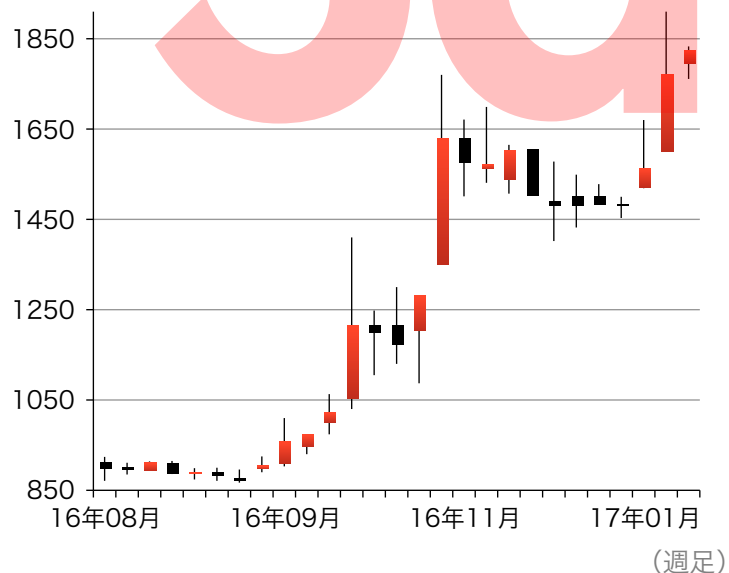
銘柄名クリックで銘柄情報ページを閲覧

企業紹介 と 業績推移

自社企画の街コンイベントの開催、情報サイト「街コンジャパン」を運営。イベントでは商品プロモーションを希望する企業、店舗を募って協賛金を受領、ユーザーから参加料収入を得ているほか、他の主催者側からも掲載料や集客手数料を得ている。連続最高業績更新と成長著しく、2月10日予定の第1四半期決算も業績変化が期待される。

集計期	売上高	営業利益	経常利益	純利益	一株利益	一株配当
13年9月期	646	23	35	24	8.3	0
14年9月期	1175	171	171	115	38.4	0
15年9月期	1722	264	282	156	50.4	0
16年9月期	2144	294	311	189	58.4	0
17年9月期 (予想)	2667	380	407	237	72.97	0

株価チャート



業績グラフ (売上高/営業利益)

